

市川市立図書館のメールマガジンをお送りいたします。
「メールでのサービス」で配信をご希望された方へお送りしています。

「.....」
市川市立図書館メールマガジン 第 41 号 2013.11.20
「.....」

11月も後半になり、中央図書館の周りのケヤキやニシキギの木の色鮮やかな紅葉が秋の深まりを感じさせてくれます。

11月15日(金)、メディアパーク市川の集会室で「中央図書館秋の歴史講座・戦国大名の実像～安房里見氏を中心に」を開催し、34名の方にご参加いただきました。受講者の方は、講師の先生の興味深い話に熱心に耳を傾けていらっしゃる様子でした。

■ ■ 図書館からのお知らせ □

◆ 蔵書点検による休館のお知らせ

○ 中央図書館・こどもとしょかんは、蔵書点検のため11月25日(月)から12月6日(金)の期間、休館させていただきます。大変ご不便をおかけいたしますが、皆様のご協力をお願いいたします。

○ その間、千葉商科大学附属図書館は市立図書館のリクエスト資料の貸出しを休止いたします。

■ ■ 本の基礎知識 □

本について知っておくと楽しい基礎知識を連載しています。

◆ 第9回「装丁(そうてい)」とは…

○ 書物を綴じて表紙などをつけることを「装丁」(「装訂」・「装幀」・「装釘」「装訂」とも書きます)といいます。一般的には、表紙や題字などのデザインやレイアウトの意味に使われています。

○ 中国から伝来し、日本で古くから行われている「和綴じ」に対し、「洋綴じ」は背が表紙につながって覆い隠されており、綴じ目が本の外側に出ません。現在では、ほとんどすべての本が洋綴じです。和綴じは謡本などの特別なものに限られています。

○ 最も多い表装は紙クロス装ですが、革装、布装の本もあります。革装の本は辞典類などに多く使われています。

○ 今年創刊50年を迎えた平凡社の「東洋文庫」は、アジアを中心とし

た古典名著を一大集成した叢書で、創刊以来、緑の布装に書名を金で箔押しした装丁です。中央図書館では新書コーナーに揃えています、その一角に重厚な雰囲気醸し出しています。

○『装丁家で探す本：古書目録に見た装丁家たち』（かわじもとたか／編 杉並けやき出版 2007）では、装丁家 1000 名を収録しており、装丁家から本を探すことができます。

○図書館の本は多くの方にご利用いただくため、表装された表紙の上から図書用コーティングフィルムを貼っています。また、バーコードシールや請求記号のラベルを貼付しているため、装丁が一部損なわれてしまっていますが、ご了承下さい。

○「本の顔」ともいわれる装丁。装丁にこだわって本を選んでみると、また新たな本との出会いが広がるのではないのでしょうか。

.....

◇メールマガジンの登録・解除はこちら

<https://opac.city.ichikawa.chiba.jp/winj/opac/top.do>

◇このメールは自動配信されています。このアドレスに返信いただいても内容の確認およびご返答ができません。ご了承ください。

市川市中央図書館

〒272-0015 千葉県市川市鬼高 1-1-4 047-320-3346
